

平成27年03月09日

社会資本総合整備計画				社会資本整備総合交付金											
計画の名称	安全・安心で快適な中心市街地のまちづくり														
計画の期間	平成26年度～平成30年度（5年間）												重点配分対象の該当		
交付対象	野田市														
計画の目標	野田市の交流拠点となる中心市街地のまちづくりを実現するため、安全・安心で快適な市街地整備を推進する。														
	特に、野田市駅、愛宕駅周辺地区については、東武野田線連続立体交差事業と一体となった土地区画整理事業、街路事業等により都市基盤整備を推進する。 これによって、中心市街地にふさわしい、商業機能や各種の都市機能等が立地する条件づくりをめざす。														
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）		654	A	654	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）		0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H27当初	H29末	H31末
1	野田市駅西地区において、都市基盤が整備された面積の割合を62%（H30）に増加させる。			
	都市基盤が整備された面積（使用収益開始面積等）を算出し、全体面積にしめる割合を算出する。野田市駅西地区 （基盤整備率）＝Σ（対象面積×使用収益開始率等）／Σ（対象面積）	0%	%	62%
2	愛宕駅東第一地区において、都市基盤が整備された面積の割合を100%（H30）に増加させる。			
	都市基盤が整備された面積（使用収益開始面積等）を算出し、全体面積にしめる割合を算出する。愛宕駅東第一地区 （基盤整備率）＝Σ（対象面積×使用収益開始率等）／Σ（対象面積）	0%	%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
市街地整備事業	A13-001	都再区画	一般	野田市	直接	野田市	-	-	野田市駅西地区	区画整理 A=6.0ha	野田市	■	■	■	■	■	603		-	
	A13-002	都再区画	一般	野田市	間接	野田市愛宕 駅東第一土 地区画整理 組合	-	-	野田市愛宕駅東第一地区	区画整理 A=1.1ha	野田市		■	■			51		-	
												小計						654		
											合計						654			

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H26	H27	H28	H29	H30
配分額 (a)	56	17	9	0	25
計画別流用増 減額 (b)	0	0	0	0	0
交付額 (c=a+b)	56	17	9	0	25
前年度からの繰越額 (d)	0	56	12	6	0
支払済額 (e)	0	61	15	6	10
翌年度繰越額 (f)	56	12	6	0	15
うち未契約繰越額(g)	0	0	0	0	0
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	0
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	0	0	0	0
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					